

# 「脱成長の経済」について、農業と地域経済を中心に 大野和興

## 1、現状

### <農業>

#### 経済的破綻

- ① 農村恐慌:農産物価格の下落・農村雇用の縮小→農家家計の維持困難
  - ② 農地価格の暴落と大規模農業者の負債増大
  - ③ 耕作放棄地増大
- #### 共同性の崩壊
- ④ 高齢化・集落消滅
  - ⑤ 農村家族の解体

### <地域経済>

#### 経済的破綻

- ① 農山村の購買力低下
  - ② 下請工業の海外移転・倒産
  - ③ 商店街のシャッター通り化
- #### 共同性の崩壊
- ④ 高齢化と買い物難民
  - ⑤ 福祉難民
  - ⑥ 家族の解体

## 2、論点

グローバル化の中で国家の役割(国の政策)の喪失

農産物価格維持

国境措置

外資の地域経済への進出

自治体の役割が見えない

保守地盤の崩壊と主体の解体

変革の担い手(主体)をどこに求めるか

共同性の解体と再生:それはいかなる共同性か

## 3、方向

小さい兼業農家の再生・創造:農業構造と雇用の構造

農産物価格とベーシックインカム

所得補償・直接支払いと市場主義の矛盾

土地所有・利用:農民的所有の崩壊と市民的所有

私的所有と総有

市場構造:線の市場と面の市場

多重多層の交易構造と脱グローバリゼーション

民衆交易の可能性

農業技術:現代技術の矛盾と行き詰まり

資本・官の技術と民・百姓の技術

巨大技術と小さい技術

自然・生命への対し方

(遺伝子組み換え・クローン・植物工場と田んぼ・畑の生き物)

重層的な生業構造の構築

農・林・漁業—加工業—流通・小売り業

農・山村と商店街

地域農業と地域福祉・地域医療・地域教育

資源・人・経済の循環の仕組み

文化をどうとらえるか

文化の多様性と地域性・風土性

エネルギーの自給と自立

個と共同:農村家族・農業集落の解体の中で